

## はじめに

---

三重県では、平成 26 年 4 月から「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めています。これまでも、三重の森林づくり基本計画に基づき、森林環境教育の機会の増大を図ってきたところですが、この税の大切な取組の一つとして、さらに注力して森林環境教育・木育の推進に取り組んでいるところです。また、平成 28 年度から始まる新たな三重県教育ビジョンには、環境教育の推進の項目に、森林環境教育・木育が位置付けられました。

本書は、平成 27 年度に県内の学校などで実施された森林環境教育・木育の活動事例について、学校などから提供いただいた情報をもとに編集したものです。学校などでの今後の取組の際に、本書の事例を参考にいただければ幸いです。

また、この税を活用して、平成 28 年 4 月から「みえ森づくりサポートセンター」を設置します。みえ森づくりサポートセンターでは、森林環境教育・木育活動のコーディネート、指導者の紹介、出前授業など、森林環境教育・木育に取り組んでいただける皆さまのお手伝いをいたします。この事例集に関するお問い合わせを含め、森林環境教育・木育全般のご相談については、この「みえ森づくりサポートセンター」へご連絡ください。

最後に、本事例集の発行にあたり、活動事例をご提供いただきました皆さまに厚く御礼申し上げます。

平成 28 年 3 月 三重県農林水産部みどり共生推進課

### 「森林環境教育」とは

---

「森林内での様々な活動体験等を通じて、人々の生活や環境と森林との関係について理解と関心を深める」  
(平成 26 年度森林・林業白書)

### 「木育」とは

---

「子どもから大人までを対象に、木材や木製品とのふれあいを通じて木への親しみや木の文化への理解を深めて、木材の良さや利用の意義を学んでもらうための教育活動」  
(平成 26 年度森林・林業白書)

#### 「森林環境教育・木育」の取組み方の例

